

## 2021年度事業計画

(2021年4月1日から2022年3月31日)

我国は国民1人当たり330個を超える鶏卵消費大国である。しかし、前年度は新型コロナウイルスの感染が世界に亘り拡大し、我国も緊急事態宣言により不要不急の移動自粛要請が二回も出された。これにより飲食店の営業時間短縮等により、鶏卵の消費は大きく減少した。又、高病原性鳥インフルエンザも広域に発生し鶏卵生産に大きな影響を与えた。新型コロナウイルス感染拡大はいつ収束するか予想することも困難であるが、平時に戻った時の備えとして、HACCP等食品衛生法に基づく安全性への取り組み、鶏卵の正しい知識普及等に取り組むことが肝要である。この様なことから2021年度事業計画は次の通りとする。

### (1) HACCP関連事業の推進

- 1) 食品(鶏卵)の製造工程管理による安全・安心を確保するため2013年GPセンターHACCP認証団体を立ち上げ、認証GPセンターは毎年増加し35施設となっている。今年度からHACCP制度は完全施行となることから、更なる認証施設の拡充を図る。
- 2) HACCP制度化の完全施行に伴いHACCP手引書の業界内への周知を図る。
- 3) HACCP高度化計画及び高度化基盤整備の推進を図る。

### (2) ヤングミーティングによる知識啓発情報発信事業

#### 1) タマリエ検定の充実及び普及

タマリエ検定を開催して12年目を迎える。  
一ツ星タマリエ合格者約50,000名、三ツ星タマリエ合格者1,686名・五ツ星タマリエ2名と多くの者が合格している。特に三ツ星タマリエ検定合格者は、鶏卵の正しい知識普及に貢献していること等から、本年度も農林水産省後援の下開催する。会場は、東京会場(6月)、大阪会場(10月)にて開催する。  
規定に則り希望があれば出前検定も開催する。  
又、今年度も卵に関する総合的な知識があり、卵のことなら何でも分かるプロ中のプロに与える称号「五ツ星タマリエ」検定を開催する。

2) たまごニコニコ大作戦の拡大

これからの食を担う高校生を中心とした、いいたまごの日「たまごニコニコ料理甲子園」を開催し、たまごの素晴らしさを若い世代に伝える。

3) 2022年IPPS開催に向けた準備

IPPS開催に向け、鶏卵の正しい知識普及・消費拡大イベント等の具体的内容立案実行。

(3) 畜産物輸出協議会：鶏卵輸出部会へ参画し世界一安全・安心な「日本のたまご」の輸出を推進し、我国鶏卵産業の安定的な発展に寄与する活動を行う。

(4) 同業他団体との消費拡大、安全・安心への取り組み

1) 鶏卵知識普及会議への参画

2) 「オムレツの会」オムレツの日記念イベントへの参画

3) 中央鶏卵規格取引協議会の市販鶏卵の品質検査への参画

4) いいたまごの日への取り組み

5) 東京都卵業協会のたまごフェスティバルへの参画

6) 鶏卵公正競争規約に則った活動への参画

(5) 一般社団法人日本卵業協会 創立70周年記念式典の開催

(6) その他鶏卵に関わる事業